

9月の祭典行事について

熱田神宮宮庁総務課 名古屋市熱田区神宮1-1-1
Tel 052(671)4153 Fax 052(681)0538 URL <http://www.atsutajingu.or.jp>

歌道の隆昌を祈る

献詠祭

9月22日(日)
午後2:00

神楽殿

祭典・神事

一般公募の和歌を神前に披講して御神慮を和め奉り、併せて歌道の隆昌を祈願する献詠祭を執り行います。

このお祭りは明治39年の皇太子殿下(大正天皇)御参拝を記念して同44年から行われています。その後、一時中断はあったものの昭和25年に復興し、以後毎年11月3日に斎行されていましたが、平成22年より祭典日を9月の第4日曜日と改定し、現在に至ります。

○当日は預選者・佳作者・一般同好者約100名の参列のもと、全国より寄せられた約800首の内、預選歌約10首が古式にのっとり披講されます(本年の兼題は「祝」です)。なお祭典終了後には、宮庁にて選歌の講評及び当日歌会が催されます。



たわわに実った稲穂の刈り入れ

大高斎田抜穂(ぬいぼ)祭

9月28日(土)
午前11:00

大高斎田(氷上姉子神社)

祭典・神事

緑区大高町に鎮座する、摂社氷上姉子神社の境内にある斎田で刈り入れのお祭りを行います。お祭りには、なごや農業協同組合大高支店の職員も参列されます。

収穫されたお米は、当神宮の諸祭典や神事にお供えされます。



七五三準備で大忙し

七五三福笹飴調製

9月3日(火)
午前9:30

文化殿講堂

行事

七五三詣を前に当神宮職員・敬神婦人会会員等約100名により、福笹飴の調製を文化殿講堂で行います。一般的には千歳飴と言われますが、当神宮では「福笹飴」と称しています。七五三の祝いは一説によると、「七歳までは神の子」と言われていたように、子供の霊魂は不安定で、しっかりした子になるよう繰り返し祈願することが習慣となっています。



熱田神宮宝物展

コーナー展「野原コレクション～明治天皇・維新元勳の遺愛品」

8月30日(金)～9月24日(火)
午前9:00～午後4:30

宝物館

宝物展示

昭和43年、明治100年を記念して、当時渡辺製菓の社長であった野原新太郎氏が蒐集した皇室や幕末維新で活躍した偉人の什器や書画など約100余点を当神宮に献納してくださいました。今月のコーナー展では、その中より選りすぐりの約40点を展示・紹介します。

【重文】太刀 銘 真行 【重文】舞楽面 崑崙八仙

【県文】明治天皇御奉幣大判 他 展示品数約80点

○入館料 ・大人300円(250円)、小中学生150円(100円)
()内は20名以上の団体料金
・入館は午後4時10分まで



文化講座

『明日へのあゆみー御大典を寿ぎ奉りてー』

9月7日(土)
午後2:00～午後4:00

熱田神宮会館

教養

[演題]
即位式と大嘗祭

[講師]
皇學館大学文学部教授
加茂 正典 氏

○聴講無料

